

ふるさとへの応援ありがとうございます ふるさと応援寄附金の状況

問い合わせ

財政課監理係 ☎ 22-7731

平成20年の地方税法改正により、都道府県や市区町村に一定の寄附をした場合、住民税の税額控除が受けられる「ふるさと納税」の制度ができました。
市では、この制度を利用した寄附金を「ふるさと応援寄附金」として受け付けています。
平成22年度には、8人の人たちからご寄附及び応援メッセージ等をいただきました。
ありがとうございました。

寄附者

長尾 信一 さん
須田 和 さん
市川 隆則 さん
久重 和敬 さん
岸本 一輝 さん
匿名(3人)

応援メッセージ等(順不同)

○親が市の福祉サービスには大変お世話になっております。町の変わったところ、変わらないところ、なつかしい友との交流に活力をもらい、またがんばろうという気持ちになっています。
○街の基盤作りに活用してください。
○雇用確保(企業誘致など)

▼平成22年度の寄附の状況

指定用途	件数	金額
人にやさしいふるさとづくり	2	110,000円
魅力あふれるふるさとづくり	5	465,000円
竹原の資源を活かしたふるさとづくり	1	700,000円
合 計	8	1,275,000円

市では、寄せられた寄附を地域振興基金に積み立てることにしています。
「ふるさと応援寄附金」は随時受け付けていますので、財政課監理係まで申し込み・お問い合わせください。

▼平成22年度基金により実施した事業

事業名	事業概要	事業費
竹原っこ夢プロジェクト	仁賀小学校では、児童がデオデオ女子陸上部の選手とリレー競争を行い、忠海中学校では、サンフレッチェ広島のコーチによる「サッカー教室」を開催しました。 また、竹原西小学校では「ふるさと竹原」の良さを紹介するビデオをつくり、道の駅たけはらにおいて一般公開しています。 参加した子どもたちは、「日々の練習の積み重ねの大切さ」や「夢の実現へ向けてがんばること」などを学び、「ふるさと竹原」の良さを実感しました。	81万円



竹原市次世代育成支援地域行動計画～後期計画～の実施状況

行動計画のうち、目標事業量を設定した保育サービス等特定事業の実施状況は次のとおりです。

事業名	平成21年度	平成22年度	目標事業量(平成26年度)
延長保育実施保育所	10	10	10
一時預かり実施保育所	5	7	6
休日保育所	0	0	1
病後児保育室	1	1	1
放課後児童クラブ	7	8	8
地域子育て支援センター	3	3	3
ショートステイ事業	0	0	1
ファミリーサポートセンター	1	1	1

今後も、地域で子育てを支援するための環境整備に努めていきます。

問い合わせ

子ども福祉室

☎ 22-7742

(箇所)

みんなで実践してみよう 環境にやさしい生活

問い合わせ

まちづくり推進課生活環境係 ☎ 22-7734

環境にやさしい生活を

エコドライブをしましょう

5月は行楽シーズン。車で移動する場合には、あらかじめ経路設定をして、エコドライブに努めましょう。

また、健康づくりもかねて、普段は車通勤であまり歩かない人も、最寄の公共交通機関を活用してエコ通勤をしてみませんか。

不法投棄は犯罪です！

平成22年1月～12月に、市内の不法投棄に関する相談・苦情が36件寄せられました。そのうち、竹原警察署による検挙件数は1件（1人）です。市では、市内数箇所に監視カメラを設置し、不法投棄防止の強化を図っています。

ゴミの適正処分と不法投棄に関する情報提供にご協力ください。

防音対策をしましょう

自分には快適な音でも、隣人にとっては、不快な音に感じられていることがあります。相手の立場を理解して防音対策をしましょう。

○テレビ・ステレオ等は、夜間・早朝はボリュームを絞りましょう。

○掃除・洗濯は、なるべく深夜の使用は避け、買い替え時には低

騒音機器を検討しましょう。

○車は、必要な空ぶかしを控え、アイドリングは必要最小限にしましょう。

市内2団体の環境保全

促進事業

全国モーターボート競走施行者協議会の補助により、市内2団体が、環境保全促進事業を行います。竹原市も活動が実を結ぶよう応援していきます。

大井・宿根地区協働のまちづくり協議会

弥生時代から人が居住してきたと考えられる、豊かな自然を保護・保全します。



人々を魅了している樹齢250年の「宿根の大桜」。協議会が周辺整備を行っています。

庄野協働のまちづくりネットワーク

国道沿いのポイ捨てゴミ対策として「ゴミを拾う活動」を実施してきましたが、今回、抜本的な解決を目指し、ポスターやお芝居による「ゴミをすてさせない運動」を展開します。

第11回賀茂川清掃

4月17日、賀茂川清掃が行われ、市内の団体が美しい川を守ろうと、汗を流しました。今年も幅広い年代の人々が集い、参加者は千人を超えました。市民の環境保全への関心が高まっていることがうかがえます。そこで、清掃に参加してみてどのように感じたか、参加者にインタビューしてみました。



今回で4回目の参加です。今年も賀茂川をきれいにすることができてよかったです。毎年清掃する度、ゴミが少なくなっているような気がします。いつか、ゴミがなくなる日がくるといいなあと思います。

宮本 竜也くん（賀茂川中学校2年）

自治会での美化運動をきっかけに、今年で3回目の参加になります。賀茂川など、地域の川の清掃を年に2回ほど行っていますが、毎回楽しく参加しています。市民全員が「みんなの川」という意識をもってほしいですね。

太田 勝さん（上条自治会）

